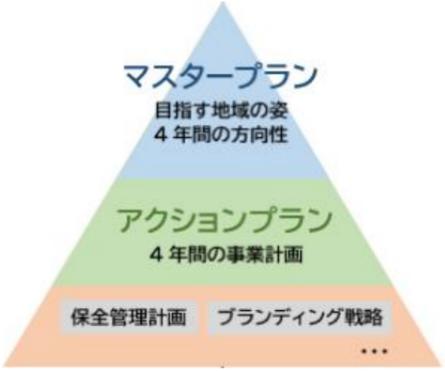
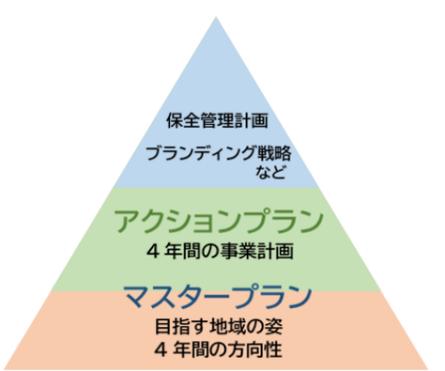
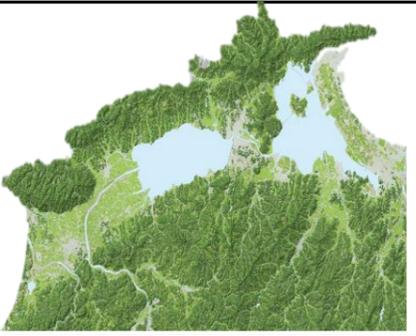
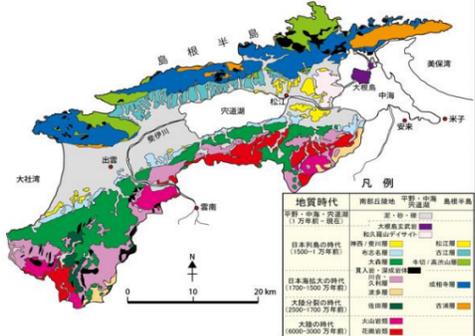


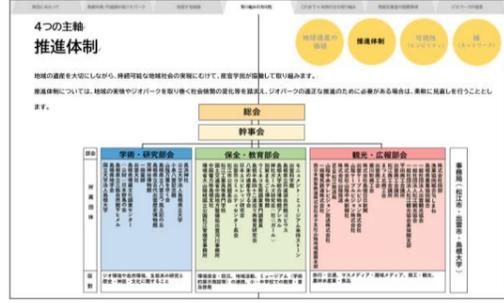
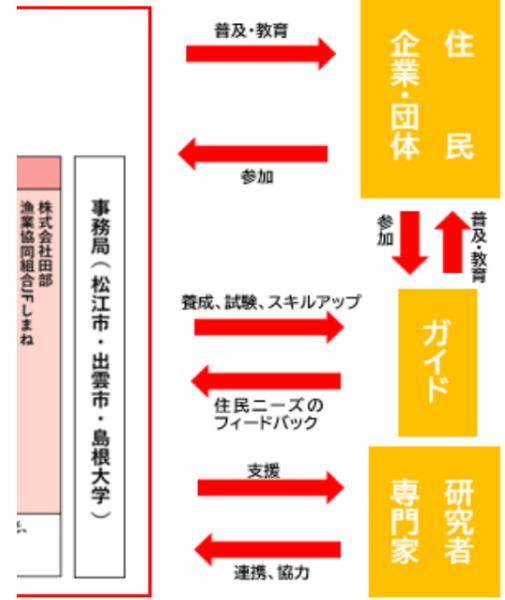
(1)マスタープラン

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	ジオパークのゴールは、環境保全、防災につながっていくことから、これらの推進を応援したい。 松江は昔から洪水被害を受けており、古くは神話にあるおろち退治も治水事業に関わることから、ジオパークとして防災・減災に取り組む必要がある。行政コストを、ジオパーク活動の推進を通じて環境保全や災害に対する認識の向上に使用していくことは、非常に分かりやすい活動である。例えば、子供たちに大地の恵みを教えるときに、宍道湖7珍が現在採れていないことを伝え、環境保全につなげていくことが取り組みの各論として必要である。 マスタープラン、アクションプランに環境保全、防災をもう少し盛り込んでほしい。	【マスタープラン】P2	右記のとおり修正します。	自然災害の影響軽減、気候変動の影響緩和などの社会が抱える重要課題への意識と理解を高め持続的に発展する地域。	地球資源の持続的な利用や自然災害の影響軽減、気候変動の影響緩和などの社会が抱える重要課題への意識と理解を高め持続的に発展する地域。
		【マスタープラン】P5,6	右記のとおり修正します。	人々が、ジオ・エコ・ヒトのつながりを知り、学ぶことで、自分たちが暮らす地域に誇りを感じ、 自然災害の影響軽減、	人々が、ジオ・エコ・ヒトのつながりを知り、学ぶことで、自分たちが暮らす地域に誇りを感じ、 地球資源の持続的な利用や自然災害の影響軽減、
		【マスタープラン】P47,48 1. まもる 【アクションプラン】P7,8 1. まもる	右記のとおり修正します。	地質遺産や自然遺産、文化遺産の保全・保護計画の策定し、	母なる地球の遺産を称え、保護する必要性を認識の上、 地質遺産や自然遺産、文化遺産の保全・保護計画の策定し、
		【マスタープラン】P48 3. はぐくむ 【アクションプラン】P8 3. はぐくむ	3. はぐくむの2項目目に右記のとおり追加します。	※記載なし	・自然災害の原因や災害対策を含む被害の軽減方法について地域住民に情報提供することで、災害に対する効果的な知識や技術を持ち、効果的な対応を取れるようになります。
2	マスタープラン素案の3、4ページに記載してある図について、アクションプランの上にマスタープランきているが、マスタープランの方を土台とした方がよいのではないか。	【マスタープラン】P3,4 【アクションプラン】P1	右記のとおりマスタープランが土台となるイメージの図に修正します。		
3	マスタープランとアクションプランですが、素人の私が見る限り、とても適切に書かれていると感じます。 とくにアクションプランは具体的でわかりやすく、踏み込んだなようになっています。感服しました。 総会で入月先生がおっしゃったように、マスタープランの3・4頁の図で、三角形の頂点にマスタープランが来るのは奇妙な気がします。 アクションプランはマスタープランの一部あるいは、進化系という位置づけでしょうか。 そのあたりは、ご検討いただければ幸いです。				
4	○地域活動の取り組みの方向性 マスタープラン(別紙①より) 島根半島西部の中で、特に重要と思われる笹子トンネル南約50m地点にある、通称「鹿落とし」(奥行約20m、長さ約35m)の窪地(私有地)の土砂を除き、地形・地質を学ぶ場所にしたい。	なし	通称「鹿落とし」の窪地について、私有地であることをふまえ、教育の場として適当であるかなど、今後の検討課題とします。		
5	○地域活動の取り組みの方向性 マスタープラン(別紙①より) 島根半島西部にある日御碕にある数センチ(2～6)の4～6角形の柱状節理があるが、ビジターセンター内の展示ボックスに現物を展示・解説板(大型)を設置したい。	なし	ジオパークとして地質遺産を採取することや日御碕ビジターセンターでの展示の是非について、日本ジオパークネットワーク等と相談しながら慎重に検討していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
6	○地域活動の取り組みの方向性 マスタープラン(別紙①より) 島根半島～鳥瞰図パネルは、地名などの記載がなく、観光客などが理解できていない。	【マスタープラン】P12	右記のとおり鳥瞰図に地名等数点を追記します。 また、今後作成するビジターセンター設置用パネルなどにも地名などを記載するようにします。		
7	言葉もビジュアルもわかりやすい計画書だと思いますし、基本的な事柄が網羅されているとも思いました。修正点および意見は以下の通りです。 ・マスタープラン(p15)「世界ジオパークでも類を見ない」とありますが、もしジオパーク内で比較するのであれば「ユネスコ世界ジオパーク」と正式名称を使ってください。もし、ジオパーク内での比較でなく、世界の中での唯一性を示したい場合は「世界でも類を見ない」とした方が良いでしょう。	【マスタープラン】P15	右記のとおり修正します。	当地域は、4つの山塊が東西に雁行状に連なった島根半島とその南側に広がる出雲平野・宍道湖・中海の低地帯が描く景観、すなわち、島根半島の変動地形と低地帯の水平地形の地球史的コンビネーションが、国内はもとより世界ジオパークでも類をみない価値を有します。	当地域は、4つの山塊が東西に雁行状に連なった島根半島とその南側に広がる出雲平野・宍道湖・中海の低地帯が描く景観、すなわち、島根半島の変動地形と低地帯の水平地形の地球史的コンビネーションが、国内はもとより世界でも類をみない価値を有します。
8	素案の段階ですから、今後チェックは進められると思いますが、細かい点として; マスタープランの地図(p12,16)についてはジオパークの範囲を入れたほうが良いと思います。	【マスタープラン】P16	P12の地図は上記のとおりジオパークエリアが分かるものに変更します。 また、P16の地図も右記のとおりジオパークエリアが分かる当ジオパークの地質・地形図に変更します。		
9	p16の「地質地形」という用語はないので地質・地形にするほうが良いと思います。	【マスタープラン】P16	右記のとおり修正します。	このような絶妙な地殻変動によってできた大地が日本海交流の拠点として、また安定した穀物生産の大地となり古代出雲文化の発展の礎となったことが奈良時代の地誌である「出雲国風土記」に見てとれます。この大地は、人新世を生きる我々にとって現在の地球環境を考える多様な視点を提供してくれる地質・地形でもあります。	このような絶妙な地殻変動によってできた大地が日本海交流の拠点として、また安定した穀物生産の大地となり古代出雲文化の発展の礎となったことが奈良時代の地誌である「出雲国風土記」に見てとれます。この大地は、人新世を生きる我々にとって現在の地球環境を考える多様な視点を提供してくれる地質・地形でもあります。
10	マスタープラン19Pの「マガン、カモ類、コハクチョウなど渡り鳥が数多く飛来するラムサール条約登録湿地となっています。当地域は渡り鳥の南限、北限が交わる場所で、湖だけでなく半島部でも多様な鳥を観察することができます。」→「カモ類、ガン類、ハクチョウ類などの渡り鳥が数多く渡来します。ラムサール条約の登録湿地になっているほか、ハクチョウ類などの日本列島における南限の渡来地ともなっています。また、島根半島でも多様な鳥類を観察することができます。」がよろしいのではないかと思います。	【マスタープラン】P19	右記のとおり修正します。	～出雲平野・宍道湖中海低地帯エリア～ 島根半島があることで、形成された低地帯には、平野と日本最大の連結汽水湖である宍道湖・中海が広がり、マガン、カモ類、コハクチョウなど渡り鳥が数多く飛来するラムサール条約登録湿地となっています。当地域は渡り鳥の南限、北限が交わる場所で、湖だけでなく半島部でも多様な鳥を観察することができます。	～出雲平野・宍道湖中海低地帯エリア～ 島根半島があることで、形成された低地帯には、平野と日本最大の連結汽水湖である宍道湖・中海が広がり、カモ類、ガン類、ハクチョウ類などの渡り鳥が数多く渡来します。ラムサール条約の登録湿地になっているほか、ハクチョウ類などの日本列島における南限の渡来地ともなっています。また、島根半島でも多様な鳥類を観察することができます。

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
11	<p>マスタープラン20P「浅い水辺で噴火した痕跡である名勝天然記念物の立久恵峡の溪谷があり、ここに生息する植物も、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物となっています。」→「浅い水辺で噴火した痕跡が残る立久恵峡があり、溪谷一帯は国の名勝天然記念物や県立自然公園に指定されています。また、岩壁には珍しい植物が多く生育しており、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物にもなっています。」がよいと思います。</p>	【マスタープラン】P20	右記のとおり修正します。	<p>～南部丘陵山地エリア～ 南部の丘陵山地では、大陸の時代の地質、花崗岩があるため、その中に含まれる良質な砂鉄は、たたら製鉄の原料となりました。また、日本列島が形成される1500万年前ごろの浅い水辺で噴火した痕跡である名勝天然記念物の立久恵の峡谷があり、ここに生息する植物も、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物となっています。</p>	<p>～南部丘陵山地エリア～ 南部の丘陵山地には、大陸の時代から日本列島の時代までに形成された地質があり、たたら製鉄の原料となる良質な砂鉄が含まれた花崗岩、古来より石材として利用されている来待石、装飾品などに加工される花仙山のメノウなど、豊富な地質資源が人々の営みを支えました。また、日本列島が形成される1500万年前ごろの浅い水辺で噴火した痕跡が残る立久恵峡があり、溪谷一帯は国の名勝天然記念物や県立自然公園に指定されています。また、岩壁には珍しい植物が多く生育しており、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物にもなっています。</p>
12	<p>(共通の考え方) 再認定指摘事項の「長期的に解決すべき事項」の中で、来待石に関連する事項についてのジオパークにふさわしいあり方を検討してほしい旨の指摘があります。原案では来待石関連の記述が不足しているため、追記しました。</p> <p>●マスタープラン ○P20 ～南部丘陵山地エリア～ (修正案) 南部の丘陵山地には、大陸の時代から日本列島の時代までに形成された地質があり、たたら製鉄の原料となる良質な砂鉄が含まれた花崗岩、古来より石材として利用されている来待石、装飾品などに加工される花仙山のメノウなど、豊富な地質資源が人々の営みを支えました。また、日本列島が形成された1500万年前ごろの浅い水辺において噴火した痕跡が残る名勝天然記念物の立久恵の峡谷があり、ここに生息する植物も、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物に指定されています。 (理由) 指摘事項である来待石は、地質資源としてたたら砂鉄と同様に南部丘陵山地エリアを代表するジオサイトであり、来待石の説明を加える必要があります。さらに、花仙山のメノウについても、ジオパーク及び地域の歴史文化として欠かすことのできない事項であると考えます。</p>	【マスタープラン】P20	右記のとおり修正します。	<p>～南部丘陵山地エリア～ 南部の丘陵山地では、大陸の時代の地質、花崗岩があるため、その中に含まれる良質な砂鉄は、たたら製鉄の原料となりました。また、日本列島が形成される1500万年前ごろの浅い水辺で噴火した痕跡である名勝天然記念物の立久恵の峡谷があり、ここに生息する植物も、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物となっています。</p>	<p>～南部丘陵山地エリア～ 南部の丘陵山地には、大陸の時代から日本列島の時代までに形成された地質があり、たたら製鉄の原料となる良質な砂鉄が含まれた花崗岩、古来より石材として利用されている来待石、装飾品などに加工される花仙山のメノウなど、豊富な地質資源が人々の営みを支えました。また、日本列島が形成される1500万年前ごろの浅い水辺で噴火した痕跡が残る立久恵峡があり、溪谷一帯は国の名勝天然記念物や県立自然公園に指定されています。また、岩壁には珍しい植物が多く生育しており、立久恵峡特殊植物群落として出雲市の天然記念物にもなっています。</p>

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
13	<p>・担当する「ジオ環境研究分野」については、今後勉強を進めたいと思います。</p> <p>・他分野に関してで恐縮ですが、マスタープランのうち文化遺産の有形文化遺産の項で歴史的事象の記述が年代が前後したり、神話の記述が間に出てくるなど、文章構成の見直しが必要かと思いました。</p> <p>以上、感想です。</p>	【マスタープラン】P21,22	右記のとおり修正します。	<p>当地域の湖沼沿岸部や山麓部には、縄文時代から弥生時代、古墳時代の遺跡が多数発見されています。特に西暦733年に完成した出雲国風土記がほぼ完本の形で残っていることで、様々な遺跡が風土記と付き合わされて、古代の社会の様子が分かって来ています。弥生時代の358本の銅剣が出土した荒神谷遺跡、古墳時代に先駆けて作られた四隅突出型墳丘墓である西谷墳墓群など国史跡も多数存在しています。</p> <p>『古事記』『日本書紀』におけるスサノヲのヤマタノオロチ退治、オオクニヌシの国譲りの物語など出雲に関する記述は大変多く、古代に出雲が注目されていた地と考えられており、オオクニヌシの国譲りの物語など出雲に関する記述は大変多く、古代に出雲が注目されていた地と考えられており、オオクニヌシを祀る出雲大社の本殿は国宝になっています。また、733年に完成した『出雲国風土記』がほぼ完本の形で残っていることで、様々な遺跡が風土記と付き合わされて、古代の社会の様子が分かって来ています。</p> <p>神社、仏閣もその歴史は古く、『出雲国風土記』には出雲大社をはじめ多くの神社が掲載されおり、大社造りの神魂神社本殿は国宝に指定されています。また、594年の創建と伝えられる天台宗の古刹鱒淵寺、825年智元上人の開山と伝える華蔵寺などがあり、山岳仏教が盛んな地でした。そうした寺々に残る寺宝である仏像は数多く国指定重要文化財になっています。</p>	<p>当地域の湖沼沿岸部や山麓部には、弥生時代の358本の銅剣が出土した荒神谷遺跡、古墳時代に先駆けて作られた四隅突出型墳丘墓である西谷墳墓群など国史跡が多数存在し、縄文時代から弥生時代、古墳時代の遺跡が多数発見されています。</p> <p>『古事記』『日本書紀』におけるスサノヲのヤマタノオロチ退治、オオクニヌシの国譲りの物語など出雲に関する記述は大変多く、古代に出雲が注目されていた地と考えられており、オオクニヌシの国譲りの物語など出雲に関する記述は大変多く、古代に出雲が注目されていた地と考えられており、オオクニヌシを祀る出雲大社の本殿は国宝になっています。また、733年に完成した『出雲国風土記』がほぼ完本の形で残っていることで、様々な遺跡が風土記と付き合わされて、古代の社会の様子が分かって来ています。</p> <p>神社、仏閣もその歴史は古く、『出雲国風土記』には出雲大社をはじめ多くの神社が掲載されおり、大社造りの神魂神社本殿は国宝に指定されています。また、594年の創建と伝えられる天台宗の古刹鱒淵寺、825年智元上人の開山と伝える華蔵寺などがあり、山岳仏教が盛んな地でした。そうした寺々に残る寺宝である仏像の中には国指定重要文化財になっているものがあります。</p> <p>江戸時代に松江藩の藩主によって築かれた文化も多く、江戸時代の茶室、菅田庵は国指定の重要文化財、史跡及び名勝となっており、松江城天守は国宝になっています。そうした文化は茶の湯、和菓子などにも広がっています。</p>
14	<p>当地域の高齢化、人口減少について</p> <p>地域住民による、ジオパーク活動が10年先継続できるのか？高齢化、人口減少を想定した基本計画が必要。</p>	【マスタープラン】P29,30	<p>高齢化や人口減少は、当ジオパークのみならず松江市及び出雲市にとっても重要な課題であり、両市の総合計画等に人口減少対策が盛り込まれていることから、両市と連携しながら取り組みを推進します。</p>		
15	<p>松江气象台が、防災や沿岸の海流の研究などに取り組んでおり、ジオパーク推進協議会会員に入ってもらう方が良い。</p>	【マスタープラン】P39,40	<p>松江气象台の意向を確認しながら、ジオパーク推進協議会会員への加入について検討していきます。</p>		
16	<p>ぜひ松江气象台にジオパーク推進協議会会員に入ってもらいたい。</p> <p>また、小学校及び中学校の校長会にも入ってもらいたい。校長会と一緒に環境教育活動を進める必要がある。</p>	【マスタープラン】P39,40	<p>校長会については、既にジオパーク学習などで連携しながら取り組みを推進しております。ジオパーク推進協議会への加入については、松江气象台や校長会の意向を確認しながら検討していきます。</p>		
17	<p>子どもだけでなく、地域が一体となって協働して海岸漂着ごみの清掃活動などに取り組む必要がある。</p> <p>また、外海の沿岸に住んでいる漁師に環境保全や海岸漂着ごみ問題について意見を聞きたい。</p>	【マスタープラン】P39～42	<p>ジオパークは、地域住民の皆様と一体となったボトムアップによる活動が基本になります。地域の皆様の意見を伺いながら、地域活動の支援などジオパーク活動を推進していきます。</p>		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
18	<p>マスタープラン、アクションプランともに素案としてよいものができあがってきていると思うので、さらに充実させていただきたい。</p> <p>松江市、出雲市が策定している環境や廃棄物に関する計画や県の環境総合計画では、一般市民、企業団体、研究者などが、それぞれの立場でどのようなことに取り組みばよいのかがまとめられている。推進行動計画でも役割を明らかにしてほしい。</p> <p>また、これまでに策定された計画のなかで、県や市としてのしっかりとしたビジョンが定めてあるので、それらの計画と今後策定するジオパークの推進行動計画とでしっかりと整合を図ってほしい。</p>	【マスタープラン】P39,40	右記のとおり推進体制の項目の中で、住民、企業・団体、ガイド、研究者・専門家の役割について追記します。		
19	2期目の活動が最重要課題だと思う ジオ協議会の活動が見えるようにしてほしい	【マスタープラン】P41,42	ホームページやSNS、会報誌等、様々な媒体を通じた情報発信を強化していきます。		
20	部会の活動がおそろかにならないように！！		専門部会を定期的に開催することで、ジオパーク活動の充実を図っていきます。		
21	地域活動に対してのヒヤリングを積極的に行ってほしい		地域の皆様との連携した活動を通じて、地域の皆様のご意見等の情報収集に取り組んでいきます。		
22	事務局にジオの専門家を配置したら良い		ジオパーク専門員として野村律夫島根大学名誉教授を配置しています。		
23	ジオパーク推進協議会の学術・研究部会、観光・広報部会、教育・保全部会といった各専門部会の中で、専門分野ごとの小ワーキンググループをつくって活動を進めてはどうか。保全・教育部会を見ても、保全、教育、防災と幅広く、専門外のことを聞かれても答えられない。	【マスタープラン】P42	地球科学、歴史、文化、生態系等に関する地域の様々な専門家から幅広く意見をいただくことで、多様なジオパーク活動に反映させたいと考えています。専門家との連携を強化することで、専門分野ごとの意見も伺いながら活動を推進していきます。		
24	アクションプラン7,8ページ、7つの取組の中の「まもる」のところ、地質遺産や自然・文化遺産の保全・保護計画を策定するとある。再認定審査での指摘事項への対応策はこの項目に記載していると思うが、再認定審査の時の指摘事項を見ると、地質遺産に限った保全・保護計画の策定を求められており、自然・文化遺産の保全・保護計画も必要なのか。	【マスタープラン】P47,48 1. まもる 【アクションプラン】P7,8 1. まもる	ジオパークは貴重な地質・地形遺産に加え、この大地で育んできた自然、生態、歴史・文化なども将来の世代に引き継いでいくこととしており、当ジオパークで策定する保全・保護計画についても、この趣旨に沿って策定していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
25	<p>○P47 -48 7つの取組 (修正案) ※「1. まもる」に、次の一文を追加します。 ・地質資源で形作られた伝統文化を継承していくため、地質資源関連産業と協力・連携体制を構築します。 (理由) 石は岩体や岩石だけが残っても、「石材」としての利用が消滅してしまうことがあります。 石材として残らなければ、石材によって形作られて来た伝統文化も継承されません。地質資源の持続的な利用だけでなく、地域の伝統文化を継承していく上でも石材産業による経済活動は重要です。 具体的な一例として、「松江市千本ダム」の事例を紹介します。(別紙1)</p>	<p>【マスタープラン】P47,48 1. まもる 【アクションプラン】P7,8 1. まもる</p>	<p>右記のとおり修正します。</p> <p>※理由 ユネスコ世界ジオパークの理念では、地質物品(岩石・鉱物・化石標本、石の装飾品など)の販売禁止が明記されており、地質物品の保全と持続可能な経済発展を両立させる必要があります。 ジオパークとしての視点で地質資源で形作られた伝統文化を継承していくため、地質資源の持続可能な収取や取引に向けた取り組みとして、今計画では関係事業者との意見交換や、地質物品の埋蔵量や販売量の把握を記載します。</p>	<p>・地質資源の持続的利用に向けて、埋蔵量や販売量の把握を行います。</p>	<p>・来待石の伝統工芸品などを将来の世代に引き継いでいくための地質物品の持続可能な収集や取引に向け、関係事業者との意見交換を行いながら、地質物品の埋蔵量や販売量の把握に取り組んでいきます。 あわせて、日本ジオパークネットワークと連携しながら、他ジオパークでの状況等について調査・研究していきます。</p>
26	<p>・素案に関して。 防災の取り組みを指摘事項にあげられているようですが、今回の素案にもあまり取り上げられていないような印象でした。先日の知床の事故の件もあり、もう少し踏み込んだ内容があれば良いのではないかと思います。</p>	<p>【マスタープラン】P48 3. はぐくむ 【アクションプラン】P8 3. はぐくむ</p>	<p>右記のとおり追記します。</p>	<p>※記載なし</p>	<p>・自然災害の原因や災害対策を含む被害の軽減方法について地域住民に情報提供することで、災害に対する知識や技術を持ち、効果的な対応を取れるようにします。</p>
27	<p>マスタープランの55ページ、日本ジオパーク再認定審査指摘事項の緊急に着手ないし解決すべき課題(おおむね1年以内)のところに「ジェンダーの問題解決への視点が欠如している」とあるが、これはどのような関係があった、ジェンダーの問題への取り組みが述べられているのか。</p>	<p>【マスタープラン】P55</p>	<p>ジオパークでは、女性が責任ある立場で活動に参画することで、社会的な地位向上を図ることを重要視しています。 令和3年度に行われた日本ジオパーク再認定審査現地審査では、松江市、出雲市、島根大学で構成する当ジオパーク事務局14人のうち、女性スタッフが1人しかいない状況が指摘されました。</p>		
28	<p>マスタープラン55・56ページの再認定審査指摘事項が、マスタープラン及びアクションプランの中でどのように対応するのかを分かりやすく記載してほしい。例えば、概ね1年以内に解決すべき課題の対応策は、計画の何ページのどこに記載しているなど。</p>	<p>【マスタープラン】P55・56</p>	<p>右記のとおり別紙で対応します。</p>	<p>※記載なし</p>	<p>別紙①-2「第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書に対する回答一覧表」に指摘事項、アクションプランページ・項目、対応内容、スケジュールをまとめました。</p>

(2)アクションプラン

重点取組等

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	●アクションプラン ○P5 -6 (修正案) 地域像 1 “地球の貴重な地域資源 宝物 をまもり、次世代に引き継ぐ地域” (理由) マスタープラン P27 -28 の記述と統一させました。	【アクションプラン】P5,6	マスタープランP27,28の記述と合わせ、右記のとおり修正します。	“地球の <u>宝物</u> をまもり、次世代に引き継ぐ地域”	“地球の <u>貴重な資源</u> をまもり、次世代に引き継ぐ地域”
2	アクションプラン(p28)の「環境公害」はおそらく「観光公害」の間違いではないでしょうか？ご確認ください。	【アクションプラン】P11 重点取組	右記のとおり修正します。	地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知 ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや環境公害の課題、レスポンスブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。	地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知 ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや観光公害の課題、レスポンスブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。
3	●アクションプラン ○P11 -12 重点取組 (修正案) 環境保全 長期 指摘事項 来待石をはじめとする地質資源の持続的な資源管理・技術継承・販売 当地域に適した地質物品(岩石・鉱物・化石標本、商業施設などで取り扱われている石の装飾品など)の保全策を立案し、これを実行していくため、以下を取り組みます。 ・来待石などの地質物品の販売事業者等の関係者と、適宜に情報交換できる関係を構築します。 ・来待石などの地質物品の埋蔵量や販売量を把握し、適切な資源管理を行います。 ・日本ジオパークネットワークの地質物品販売に関する見解を把握するため、保全ワーキンググループなどにおける議論の進捗状況や動向について情報収集します。 ・来待石などの地質資源で形作られた伝統文化を継承していくため、地質資源関連産業と連携します。	【アクションプラン】P11,12 重点取組	ユネスコ世界ジオパークの理念では、地質物品(岩石・鉱物・化石標本、石の装飾品など)の販売禁止が明記されており、地質物品の保全と持続可能な経済発展を両立させる必要があります。 令和3年度に行われた日本ジオパーク再認定審査現地調査では、「出雲石灯ろう」といった伝統的工芸品の継承・販売には一定の理解が得られたものの、来待石のストーンライトなど近代的な地質物品の装飾品の販売が問題視されたところです。 来待石は国指定の伝統的工芸品で、松江市の特産品である「出雲石灯ろう」の石材です。一方で、来待石の利用促進のため、近代的な装飾品を販売している事業者もおられることから、関係事業者との意見交換を行いながら、地質物品の埋蔵量や販売量の把握に取り組んでいきます。 あわせて、日本ジオパークネットワークと連携しながら、他ジオパークでの状況等について調査・研究していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
3	<p>(理由)</p> <p>今回の指摘事項について、アクションプランでは来待石の項目以外は重点取組として掲げられていますが、来待石の項目についてはそのようになっていません。したがって、来待石関連の指摘事項についても「重点取組」として掲げる必要があると考えます。</p> <p>なお、重点取組の対象としては、来待石をはじめとする当地域の各石材についても地質資源として取扱うこととしました。具体的には、国指定伝統的工芸品出雲石灯ろうの材料である「来待石」をはじめとして、松江城の石垣に使用されている「長黒石」、大根島の「島石」など、島根半島・宍道湖中海ジオパーク内で伝統的に利用されてきた石材が挙げられます。ジオパークとしてこれら石材についても、岩石としての保全だけでなく、ジオの上に成り立つ歴史文化・産業の継承と維持も考慮して検討していく必要があります。(次ページに続く)</p> <p>なお、掲げられた具体的な取り組みについて、来待ストーンでは現在以下のように考え、それに基づいた活動に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「来待石などの地質物品の販売事業者等と適宜情報交換できる関係を構築します。」について <p>来待ストーンは、来待石産業の中核である「来待石灯ろう協同組合」の事務局を受託し、組合事務所も来待ストーン施設に設置されています。これにより、来待ストーンは来待石販売事業者等と適宜に情報交換が行える関係を構築しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本ジオパークネットワークの地質物品販売に関する考え方の動向を把握するため、保全ワーキンググループなどにおける議論の進捗状況について情報収集します。」について <p>他地域のジオパークにおいても歴史ある石材産業があります。また窯業なども、地質資源を利用した伝統産業であるといえます。ジオパークから地質産業を除外、または規制するのではなく、ジオの上に成り立ち、地域に根付いた伝統的な歴史文化として認識し、同様な思いや課題を抱えている他地域のジオパークと連携・情報交換をしていくことで、日本ジオパークやユネスコと協議が行えるような体制作りを、島根半島・宍道湖中海ジオパークが中心となって推進して行くべきと考えます。</p>				
4	<p>アクションプランは、一般の方の目に触れるものになると思うが、「ジオツアー商品の造成・販売」というように分かりにくい表現があるため、具体的に分かりやすい表現にしてほしい。</p>	<p>【アクションプラン】P13 重点取組</p> <p>【アクションプラン】P34 5. つくる</p>	<p>「ジオツアー商品の造成・販売」の表現は右記のとおり修正します。その他、一般の方にも分かりやすい表現に努めます。</p>	<p>旅行事業者等による_____</p> <p>_____ジオツアー商品造成・販売</p>	<p>旅行事業者等によるジオパークの魅力を巡るコース(ジオツアー)の商品_____販売</p>
5	<p>昨年度はお世話になりました。新年度からのマスタープランなど拝見いたしました。</p> <p>前回の指摘事項をベースにして基本的な事柄はすべて網羅されているように感じます。そのためアクションプランでは、細かい目標がやや羅列的になっているようにも感じます。また、それらの目標項目をどの部会が責任をもってどのように進めていくのかについての記述がないので、担当部局を明確にすることは、重要かもしれません。そうしないとすべて事務局任せになってしまう気がします。</p>	<p>【アクションプラン】1. まもる～7. むすぶ</p> <p>【アクションプラン】P31 4. つたえる</p> <p>P48 KPI一覧</p>	<p>右記のとおり追記します。</p> <p>4. つたえるの目標値は、細かい内容6項目を羅列しているため、4項目に整理します。</p>	<p>※1. まもる～7. むすぶまでの7項目について、それぞれ担当専門部会名の記載なし</p> <p>・松江ビジターセンター来場者数/年度</p> <p>・日御碕ビジターセンター来場者数/年度</p> <p>・パンフレット配布枚数/年度</p> <p>・ホームページ閲覧者数/年度</p> <p>・ジオパーク関係イベント入込客数/年度</p> <p>・看板(総合看板、サイト看板、誘導看板含む)数/累計</p>	<p>1. まもる～7. むすぶまでの7項目について、それぞれ担当専門部会名を追記します。</p> <p>・松江ビジターセンター来場者数/年度</p> <p>・日御碕ビジターセンター来場者数/年度</p> <p>・ホームページ閲覧者数/年度</p> <p>・看板(総合看板、サイト看板、誘導看板含む)数/累計</p>

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
6	<p>ジオパークのゴールは、環境保全、防災につながっていくことから、これらの推進を応援したい。</p> <p>松江は昔から洪水被害を受けており、古くは神話にあるおろち退治も治水事業に関わることから、ジオパークとして防災・減災に取り組む必要がある。行政コストを、ジオパーク活動の推進を通じて環境保全や災害に対する認識の向上に使用していくことは、非常に分かりやすい活動である。例えば、子供たちに大地の恵みを教えるときに、宍道湖7珍が現在採れていないことを伝え、環境保全につなげていくことが取り組みの各論として必要である。</p> <p>マスタープラン、アクションプランに環境保全、防災をもう少し盛り込んでほしい。</p>	【アクションプラン】P50 3行目	右記のとおり修正します。	自然災害の影響軽減、気候変動の影響緩和などの社会が抱える重要課題への意識と理解を高め持続的に発展する地域。	地球資源の持続的な利用や自然災害の影響軽減、気候変動の影響緩和などの社会が抱える重要課題への意識と理解を高め持続的に発展する地域。

1. まもる

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	<p>石などは埋蔵量に限りがあるので物品販売などには向いていないと思います。その代わりに、ジオパークで撮影された写真を使ったポストカードといったもののほうがお土産に向いていると思います。</p>	【アクションプラン】P16,17 1. まもる	<p>当地域にある来待石の伝統工芸品などを将来の世代に引き継いでいくための地質物品の持続可能な収集や取引に向け、関係事業者との意見交換を行いながら、地質物品の埋蔵量や販売量の把握に取り組んでいきます。</p> <p>地質物品の写真を使用したポストカードやレプリカの販売等については、今後検討していきます。</p>		
2	<p>●アクションプラン 1. まもる「地球の遺産」の価値を読み解き、守ります。(修正案) (再掲)環境保全 長期 指摘事項</p> <p>来待石をはじめとする地質資源の持続的な資源管理・技術継承・販売</p> <p>当地域に適した地質物品(岩石・鉱物・化石標本、商業施設などで取り扱われている石の装飾品など)の保全策を立案し、これを実行していくため、以下に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来待石などの地質物品の販売事業者等の関係者と、適宜に情報交換できる関係を構築します。 ・来待石などの地質物品の埋蔵量や販売量を把握し、適切な資源管理を行います。 ・日本ジオパークネットワークの地質物品販売に関する見解を把握するため、保全ワーキンググループなどにおける議論の進捗状況や動向について情報収集します。 ・来待石などの地質資源で形作られた伝統文化を継承していくため、地質資源関連産業と連携します。 	【アクションプラン】P16,17 1. まもる	<p>ユネスコ世界ジオパークの理念では、地質物品(岩石・鉱物・化石標本、石の装飾品など)の販売禁止が明記されており、地質物品の保全と持続可能な経済発展を両立させることが必要です。</p> <p>ジオパークとしての視点で地質資源で形作られた伝統文化を継承していくため、地質資源の持続可能な収集や取引に向けた取り組みとして、今計画では関係事業者との意見交換を行いながら、地質物品の埋蔵量や販売量の把握に取り組んでいきます。</p> <p>あわせて、日本ジオパークネットワークと連携しながら、他ジオパークでの状況などについて調査・研究していきます。</p>		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
2	<p>※以下の項を追加します。 地域振興 長期 指摘事項</p> <p>石材資源と伝統文化の継承</p> <p>国指定伝統的工芸品出雲石灯ろうの材料である「来待石」をはじめ、松江城の石垣に使用されている「長黒石」、大根島の「島石」など、島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の歴史文化を担う石材があります。ジオパークとしてそれら石材について岩石としての保全だけでなく、ジオの上に成り立つ歴史文化・産業の保全にも取り組みます。 (理由) 「環境保全 長期 指摘事項」については、重点項目を再掲します。追加で掲げた「地域振興 長期 指摘事項」については、地質資源の持続的利用だけでなく、地域の伝統文化の継承としても石材産業は重要と考えます。指摘事項にあげられた来待石だけでなく、その他の石材についても取り組む必要があります。(前述)</p>				
3	<p>昨年の審査でもお邪魔した「出雲の築地松」がマスタープランにもアクションプランにも出てきませんが、出雲平野を代表する農村景観であり、人と自然の関わりがよくわかるものなので、ジオパークとしてももっと大切にしたいなと思いました。</p>	【アクションプラン】P17 1. まもる	右記のとおり修正します。	<p>景観を保護するための活動の実施</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____ 松江市・出雲市両市に適用される景観条例や計画、屋外広告物条例や計画にもとづき、良好な景観形成を促進します。</p>	<p>良好な景観形成の促進</p> <p>宍道湖、中海、日本海と島根半島のリアス式海岸などの美しい自然景観、築地松など気候、風土、歴史に根ざした文化的景観など、豊かな景観資源を有しており、松江市・出雲市両市に適用される景観条例や計画、屋外広告物条例や計画にもとづき、良好な景観形成を促進します。</p>

2. しる

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	<p>○今後の重点的取り組み アクションプラン(別紙②より) 西部エリアに生息している動植物のリストを作成する。</p>	【アクションプラン】P21 2. しる	当ジオパークエリア内に生息・生育している生態のリスト作成等に取り組んでいきます。		

3. はぐくむ

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	<p>アクションプランの中でも、小中高生向けのツアーなど、子ども向けの学習をあげていただけていますが、大地のなりたちや隆起など、分かりやすく記したものを増やしていただきたいと思います。 マンガで解説したものもすでにありますが、個別のジオサイトごとに、ジオカードの取り込みはよいと思います。</p>	【アクションプラン】P23,24 3. はぐくむ	具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
2	幅広く年代別、目的別の広報活動の充実 ・次世代を担う子ども向け「ジオパーク新聞」の定期発行。 ※新聞折り込み他、学校、市役所、公民館等におく。 ・小学校・中学校へ、松江ビジターセンターを拠点とした地質学習プログラムを起案作成し、提案する。 ・ビジターセンターに映像で見る設備を充実(風土記の丘参考)し、来館者を楽しませ興味を持たせる。 ・働き方の多様化により、講習会等に参加が出来ない人のために、ビジターセンターで夜間講習会の開催。	【アクションプラン】P23,24 3. はぐくむ	具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
3	是非ともお願いしたいことがあります。 それは、松江市の小学校から中学校までの学校教育にジオ学習を入れていただきたい。恐らくここまでは、だれかが提案したことは、あると思いますし、すでに授業に取り入れているところはあると思います。 しかし、ここからは、一歩進んだお話です。 目的: 少年少女ジオガイドの育成 手段: 小中学校の道徳にジオ学習を組み込む なぜ、社会科や理科でなく、道徳なのか。それは道徳の学習が単独の教科ではなく、7年前くらいからは、各教科(社会科・理科・算数・生活科・体育等)すべての教科を通じて行うことになっています。つまり道徳という時間の単独のコマだけではなく、各教科で道徳学習を期待されているということです。それは、指導要領の道徳編に書かれています。 なぜジオ学習に道徳なのか。この指導要領に書かれている大事なキーワードを見れば大きなヒントになると思います。 ○郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。 ○身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。 ○家庭や地域社会との連携を図る ○美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。 ○郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ ○外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界 ○図書館等の施設や校外の場所を生かした指導の人々と親善に努める これら指導要領に書かれている大事なキーワードがジオ学習と重なります。 そして、もう一つの大事なキーワード ○6年間を見通した計画的、発展的な指導を可能にする。 ここでは、1・2年、3・4年、5・6年をひとくりに考えていて、6年を見通したとある。ポイントは、各学年のそのステージにあった学習内容を用意して、それを積み上げていくこと。今までピンポイントのジオ学習はあったと思いますが、ジオの学習は地質学的事実から神話・動植物等広いため、時間をかけて積み上げていくことで、本来の目的がしっかり学べるとおもいますし、それを知ることで、足元の今まで見えなかった宝に気付くことになります。それは全国初、どこもやっていない。 これを実現するためには、まずは、ジオガイドと学校と協議しながら内容を詰めて行くのがいいでしょうが、忙しい先生方に新たな負担を求めるよりも、退職した教員に協力を求めて行く方がいいのではないかと思います。また教育センターか島根大学附属学園との連携もありでしょう。 最終的なゴールは、松江市の宝、ジオパークで、少年少女が身近な地域のジオガイドになること。それは、指導要領の道徳で求められているものを補完するのではないかと考えます。 さて、最後に釜石の奇跡と呼ばれた防災教育は、学校教育の中で、例えば算数のテスト問題に津波の速度の計算などを通して、震災前から日頃の授業に組み込まれてきました。これに習って、切り口は違いますが、各教科の中の「道徳」を通して、全国初のジオパークを生かした教育活動になるのではないかとおもいます。 参考キーワード及び参考リンク 釜石の奇跡: 片田 敏孝教授 小学校学習指導要領解説道徳編 (mext.go.jp)	【アクションプラン】P23,24 3. はぐくむ	次期4年間においては、小中学生向けのジオパーク教育プログラムの作成やジオツアーの催行等の取り組みを強化することとしています。 小中学校の道徳にジオ学習を盛り込む点については、両市の教育委員会や校長会等と相談しながら検討していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
4	下記に挙げる「キッズクラブ」の活動補助 ジオ・キッズクラブ 1年間を通して行う小学生(5・6年生)を対象としたクラブ活動。拠点はビジターセンターとするが、基本的に野外での活動となる。豊富な人材を抱える出雲国ジオガイドの会のメンバーをフル活用して子供に大地のこと環境のこと、世界のこと、そこで暮らす自分たちのことを考えるきっかけとなつてほしい。島根大学の学生や出雲科学館と連携してもいいかも。	【アクションプラン】P23,24 3. はぐくむ	これまでも桂島や日御碕での小学生向けの体験型プログラムに取り組んできており、今後もジオガイドや島根大学、出雲科学館等の関係者と連携し、継続して子ども向けの活動に取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
5	4年後、そのあともまた審査もあるでしょうから、スキルアップ研修とともに次世代や若手の育成も大切でしょう。活動に大学生や高校生を誘うのもいいでしょうし、観光、環境、大橋川などの部署とも手を組み、夏休みなどに幼児や小中学生の体験学習を開くのもいいでしょう。	【アクションプラン】P23～ 25 3. はぐくむ	これまでもジオガイドスキルアップ講座や小中高生、大学生を対象とするイベント等を開催しており、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
6	楽しいジオパーク学習 ・遊覧船をチャーターして、桂島を周り、海から見るジオ学習。 ・島根半島・春夏秋冬／美味珍の旅。 ・四十二浦とジオの関わり。 ・島根半島と北前船(松江藩、佐陀川、桂島、美保関等の関わり)。 ・島根半島、ジオと物づくり体験。 ・島根町(大芦～野井)の地質・歴史・文化・食、土産、体験等も含んだ一日コース、半日コース設定(悪天候でも対応できるコースも)。	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	引き続き当ジオパークの魅力を満喫できるツアーを催行することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
7	大学でのジオパークの授業は、ジオパーク入門のみ受講する人が多く、副専攻を取る人がとても少ないです。入門の授業で、地球科学科以外の人たちにもジオパークの魅力を伝えることができたり、ジオパークの副専攻を取ると何か特典があったりすると思います(ガイド講習一部免除等)。	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	島根大学とのパートナーシップ協定締結や学生組織の立ち上げ等、連携強化や取り組みの充実を図る中で検討します。		
8	海から眺めるジオサイト研修の実施について 特に美保関町のジオサイトは海からしか見えない箇所が多い。広く中海圏域から夏休み親子研修、一般研修などを募集し実施していただきたい。 ・コース 美保関漁港から笠浦漁港まで 美保関漁港から七類港までの往復 ・船 七類 海峡の釣り船、美保関福間館の船などをチャーター	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	子ども向けのジオツアーを催行することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
9	参加型企画について 家族・友達対象 ⇒ お菓子作り・実験・観察会 特産物を使ってオリジナル弁当を作り、野外で食べてみよう。 教育関係 ⇒ 小中校生へのガイド実施(スキルアップ不可欠) 島根大学学生に簡易的な実験装置作成・地元高校生にお菓子開発に参加してもらう	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ P30 4. つたえる	これまでも体験、参加型のイベントに取り組んでおり、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
10	ジオパーク推進協議会に今後取り組んでほしい活動 ・現在行っている四十二浦巡りガイドツアー ・島根半島景勝地の調査(奇岩、洞窟等の船からの調査) ・観光クルーズ船 ・北前船寄港地巡り ・地区(エリア)のPR動画の作成とコミセン等の拠点への資料の配布 ・地域住民対象の広報活動(ジオパークの理解/活用のための講習会等) ・案内看板作成の協賛・協力(アドバイス等)	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	様々なジオツアーを催行することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
11	・小泉八雲がかつて大社から船で日御碕を訪れたようにクルージング船で再現し、雄大な日御碕の海岸線を堪能してもらおう。日御碕地区での宿泊を組み入れ、朝の海、夕日に染まる海を見てもらう。 ・小・中学生を対象とした事業 ・ヘリコプターによる空中ジオガイド	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	様々なジオツアーを催行することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
12	アクションプラン24ページ、松江観光タクシー乗務員研修会の開催が一つの柱のように記載されている。研修は観光タクシーに限らず、様々な企業・団体に行っていく必要があると思うので、観光タクシーへの研修のような具体的な記載ではなく、幅広い記載にしてほしい。	【アクションプラン】P24 3. はぐくむ	右記のとおり修正します。	企業・団体向け(観光タクシー等)の研修会の開催 松江観光タクシー乗務員への研修会を継続して実施するとともに、協議会会員となっている企業・団体を中心に、研修会を幅広く実施して、より積極的なジオパーク活動への参画を呼びかけます。	企業・団体向け_____の研修会の開催 _____協議会会員となっている企業・団体を中心に、研修会を幅広く実施して、より積極的なジオパーク活動への参画を呼びかけます。
13	多くの人にジオパーク活動に興味をもていただくため、分かりやすくかつ関心が高いと思われるものを積極的に取り組んでいただきたいです。 たとえば ・ジオパーク視点から見る防災 ・当ジオパークの特産品、料理など ・ジオパークの保護/みんなで参加型のクリーンアップ作戦	【アクションプラン】P24,25 3. はぐくむ	具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
14	地元の住民を対象とする研修会やジオガイドスキルアップ講座を定期的開催してほしい。	【アクションプラン】P24,26 3. はぐくむ	引き続き地域住民向けの研修会やジオガイドスキルアップ講座を開催することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
15	・地域住民をターゲットとした啓蒙活動的な事業をお願いしたい 例:各自治体の教育委員会と連携した小中学校の課外授業の創出(この場合にバス代等の助成を行う) ・ジオガイドのスキルアップ研修	【アクションプラン】P24~26 3. はぐくむ	提案いただいた事業に引き続き取り組むこととし、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
16	学生とコラボすることによって、メリット、デメリット(学生が地域の方々と交流することは、重要であり、今後就職する際の大切なコミュニティの1つになると考える。しかし、学生がジオパークに参加するにあたって移動費などコスト面が必要となるケースがある)	【アクションプラン】P25 3. はぐくむ	島根大学におけるジオパーク学生組織の設立や活動の展開を目指しており、学生のジオパーク活動への参加にあたってのデメリット面の対応について、島根大学と相談しながら検討します。		
17	土砂災害など地質関係については割と研究されているが、気候変動の関係による大気の変動の活発化や海水温の変動など、気象条件の変化と地質の関係が、10年前と比べて大きく変化しており、国のプロジェクトで研究が始まっている。土砂災害、防災減災、特に宍道湖の水面の上昇などと気候変動は関連があり、プランの中に気候変動に対応するような研究を加えることが必要である。	【アクションプラン】P25 3. はぐくむ P28 4. つたえる	ジオパークは、気候変動の影響の緩和等、社会が直面している重要課題への意識と理解を高める活動を行います。当ジオパークエリアといった身近な場所での海面水位の上昇や生息している生き物が減少している現状等について、専門家や関係機関等と連携を図りながら検討していきます。		
18	日御碕にういの瓶詰をよく買いに行くが減少しており、大田から取り寄せているが、わかめが育たないから、ういが育たないということである。 島根町も同じで、乾燥わかめの土産品をツアーで使うが、ここ2、3年はわかめが育たず、乾燥わかめの生産にいたらないそうである。気候変動との関連を説明すると、漁師が取り組みを考えられるかもしれない。	【アクションプラン】P25 3. はぐくむ P28 4. つたえる	ジオパークは、気候変動の影響の緩和等、社会が直面している重要課題への意識と理解を高める活動を行います。当ジオパークエリアといった身近な場所でのわかめが育たない現状等について、専門家や関係機関等と連携を図りながら検討していきます。		
19	しじみは20年前と比べて増えている。昭和40年代まではシラスウナギが群れで上がってきていたが、今は見られない。今は放流したうなぎを採っている。 宍道湖の水質は悪くないが、藻は増えている。	【アクションプラン】P25 3. はぐくむ P28 4. つたえる	ジオパークは、気候変動の影響の緩和等、社会が直面している重要課題への意識と理解を高める活動を行います。当ジオパークエリアといった身近な場所でのうなぎが減少している現状等について、専門家や関係機関等と連携を図りながら検討していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
20	<p>マスタープラン、アクションプランについては、しっかりと内容が出来ていると思うので、あとはアクションプランの具体的な事業を、どこまで中身の事業にできるかが大切になってくると思います。</p> <p>ガイドの会としては、ガイドが出来るようにストーリー作成、またガイドの会が主となるガイドコースの作成・実施を取り組んでいければと思います。</p> <p>*収集をされた意見を一覧にしてまとめておられたら、他の方がどのような思いをもって取り組んでおられるか知りたいです。ぜひ参考にさせていただきます。</p>	【アクションプラン】P26 3. はぐくむ	<p>ジオガイドの皆様が主体的な活動に取り組めるよう協力や支援することとし、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。</p> <p>また、いただいた意見や対応は、ジオパーク推進協議会のホームページで公開します。</p>		
21	<p>研修を希望します。</p> <p>ガイドや、事務局の方の中には、専門分野をもっておられる方がおられますので、その方に講師になって頂いて、ジオサイトのある現地や、室内でのおもてなし研修等を引き続き希望します。</p>	【アクションプラン】P26 3. はぐくむ	<p>様々な分野の研修会を開催することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。</p>		
22	<p>ジオパークの理念の課題のひとつに女性とあるが、その意味がよく分かりませんがマスタープラン・アクションプランの素案は具体的で、賛同、共感し感動さえ覚えるとともにジオガイドとしてのやりがい、生き甲斐を感じさせます。</p> <p>ジオパークの魅力を伝えるガイド(解説者)としての役割のみならず、自然ガイド・文化財ガイド・神話ガイドの経験を生かす幅の広い、またお客様への気配り、もてなす心、ホスピタリティー性とお客様を楽しませることができるエンターテイメント性を養いながらプロ意識を持った質の高いガイドを目指したいと思います。後期高齢者の仲間入りとなりましたが、生涯現役が続く限り頑張りたいと思います。</p> <p>ジオパークの目的に、ジオ・エコ・ヒトのつながりを知り(気付き)、学ぶことで自分たちが暮らす地域に誇りを感じ、気候変動や自然災害への意識と理解を高め、持続可能な地域社会をつくとあります。</p> <p>このジオ・エコ・ヒトのつながりに関係するジオサイト、他にも文化(神話)サイト、生態サイト、無形サイトと沢山の魅力あるサイトがあります。</p> <p>その魅力的なサイトでジオストーリーと絡み合わせたツアーガイドをしてみたいと思い、個人的に付き合いのある、また近所付き合いのある方(つまり、つながりの深い方)をボランティアで実践してみたいと思っています。</p> <p>要望としては、つながりの関係から見ると火山もそのひとつ、それと島根半島の成り立ちを神話とし描かれている、しかも地誌として山、川、浦、浜、湖のことまで、さらに動植物や産物、1300年前の出雲地方の様子が想像できる、スキルアップ研修に加えて頂きたい。さらには地層の断面、海底の地形のことが知りたい。</p>	【アクションプラン】P26 3. はぐくむ	<p>引き続きジオガイドスキルアップ講座を開催することとし、提案いただいた内容に関する講座も今後開催を検討します。</p> <p>なお、ジオパークでは、女性が責任ある立場で活動に参画することで、社会的な地位向上を図ることを重要視しています。</p>		
23	<p>•まだ、ガイド未実施エリアや今後ガイド不足と成り得るエリアのガイド養成。</p> <p>•部門分け:ガイド部門/実験(教育)部門</p> <p>•今後、簡単な実験をガイドがする場合の研修会</p> <p>•観察会(ガイド)に必要なグッズ購入・作成</p> <p>虫眼鏡 観察会で参加者一人一人に記入タイプのチェックシート 双眼鏡</p>	【アクションプラン】P26 3. はぐくむ	<p>引き続きジオガイドスキルアップ講座を開催することとし、ガイドに必要なグッズは、ガイドの皆様と相談しながら購入等の支援をしていきます。</p>		
24	<p>現地プレーヤーとして観光や教育のレクチャーをするのは「ジオガイドの会」がメインになると思われます。ただ収益事業として軌道に乗せるには認知も含めてあと3年かかります。単年度でも良いので当面は協議会から運営費の補助・助成をいただきたいと考えます。</p>	【アクションプラン】P26 3. はぐくむ	<p>ジオパークの魅力を伝えるガイドは大変重要であり、地域活動補助金などを通じて、ジオガイドの会の活動を支援していきます。</p>		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
25	「ジオガイド養成講座」(スキルアップコース)の開催実施を要望 ・ジオとヒトの遺産について現地研修の実施を要望 ・交流・交歓の場をつくってほしい。(講演・研修会)	【アクションプラン】P26 3. はぐむ	引き続きジオガイドスキルアップ講座を開催することとし、提案いただいた内容に関する講座等も今後開催を検討します。		

4. つたえる

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	アクションプラン(p28)の「環境公害」はおそらく「観光公害」の間違いではないでしょうか？ご確認ください。	【アクションプラン】P28 4. つたえる	右記のとおり修正します。	(再掲)地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知 ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや環境公害の課題、レスポンスブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。	(再掲)地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知 ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや観光公害の課題、レスポンスブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。
2	○今後の重点的取り組み アクションプラン(別紙②より) ビジターセンターやジオサイトの案内・解説板の設置を増やしてほしい。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	引き続き看板設置を推進することとし、具体的な設置場所等については、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
3	来訪者が、ビジターセンターやジオサイトへ容易にたどり着けるように見つけやすい誘導標式を設置することはいいことだと思います。ジオサイトの駐車場なども充実させるといいと思います。サイトの整理について、訪れることが難しい場所以外でも、ごみ拾い、道まで伸びていて通り道をふさぐような木の伐採などといった保守的な作業も必要であると思います。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	引き続き看板設置を推進することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。 また、木の伐採などの保守的な作業については、関係機関と連携し、地域住民の皆様の協力を得ながら取り組みます。		
4	週末から鳥取県と兵庫県北部の日本海沿岸沿いに北陸まで、ドライブ旅行をしてきましたが、その間、国道178号線沿い中心に、「山陰海岸ジオパーク」の看板がいたる所にありました。もう良いというほどに、ジオパーク、ジオパークという看板が目につき、あの道路を走る人の目には、絶対に記憶の奥底に残ると思います。もちろん、ここぞというところには、ちゃんとその場所の説明板もあり、またそこへの案内表示も目につきました。(実際現地には行くことはありませんでしたが・・・)数カ所あった道の駅にもジオパーク関係の看板が目につきました。 翻って、島根ではジオパークの看板がめったに目に入りません。現地への案内表示板はどれくらいあるのでしょうか？ガイダンス施設まで行けば、その説明はわかるとしても、人々の関心に火を付けるような「ジオパーク」の語句がなければ、人は行かないと思います。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	引き続き看板設置を推進することとし、具体的な設置場所等については、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
5	一般の人が気楽にジオサイトに行けるように、手軽なモデルコースを作製し、マップ付きのパンフレットを作って欲しい。例えば、島根県の自然環境課が中国自然歩道の各モデルコース毎のコース概要、アクセス、見どころを記した地図付きのパンフレットを作成している。このようなパンフレットを作成すれば、非常に便利である。出雲地方の中国自然歩道は、島根半島・宍道湖中海ジオパークを通っているので大変参考になります。出来る事なら県と協力して統一パンフレットを作成していただきたい。 ・ジオサイトが沢山あるが、遊歩道、案内板がほとんど整備されていない。ジオサイトが見学できるように遊歩道、ポケットパーク、できればトイレなどのインフラ整備をして欲しい。既存の遊歩道なども草刈り等しっかり整備して下さい。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	手軽に行ける散策コースを掲載したパンフレットの作成に取り組むとともに、ロングトレイルコースの作成を検討していきます。 また、引き続き看板設置を推進することとし、具体的な設置場所等については、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。 遊歩道等のハード整備は、ジオパーク推進協議会では行っていないため、必要に応じて国や県、市などと連携しながら対応していきます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
6	「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」HPで以下の情報掲載について ・温泉地やモデルコースの紹介 ・「お土産」や「食」に関する情報の充実 ・フリー画像の提供	【アクションプラン】P29 4. つたえる	情報発信は重要であり、当ジオパークのホームページのリニューアルに合わせて検討します。		
7	海外からの観光客に向けて英語でのホームページやサイトをつくる。 東京や大阪・京都から飛行機で1時間の場所であり、地質的にも文化的にも歴史のある土地であることを伝えていく。京都・奈良や高野山、熊野に外国人ツアーリストが多く訪れているので、観光とできる体験をあわせてアピールする。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	情報発信は重要であり、当ジオパークのホームページのリニューアルに合わせて検討します。また、両市の観光協会等と連携しながら情報発信の強化に取り組みます。		
8	マスタープランとアクションプランについて特に意見はないが、看板については、早急に設置してほしい。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	引き続き看板設置を推進することとし、具体的な設置場所等については、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
9	アクションプランの「つたえる」の29ページに書いてある「ジオパークエリアに入ったことがわかる看板設置」は重要である。地元の美保関町にジオパークと分かる看板が一切ないので、通勤などで地元の人が毎日見ることができる環境にしていくと良いアピールになる。美保関町でも何かできればと考えているが、ジオパーク推進協議会でも看板設置してほしい。	【アクションプラン】P29 4. つたえる	引き続き看板設置を推進することとし、具体的な設置場所などについては、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
10	ビジターセンター内に閲覧コーナーを設けてほしい。(ジオパーク関連子ども向け絵本から大人向けの市民、教員、研究者向けの図書を配置) 見学者に宍道湖・中海ジオパーク、ジオパークに関する知る機会を提供できる。わずかですが私も提供できます。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	ビジターセンターにジオパーク関係の図書を整備していきます。		
11	5月2日の地質の日を中心に、宍道湖・中海ジオパーク祭りを開催する(加盟団体、推進協が実行委員会を結成して。コロナが収束してから。)		8月22日の「ジオパークの日」には、ビジターセンター等でイベントを開催していますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら検討します。		
12	ジオパークを環境教育や、科学教育、歴史、民俗教育の推進の場として、現地で活用できる、事典、ガイドブックなどを配置し活用する。 環境教育や、理科教育で活用してきた図鑑類が供給できます。		蔵書の保管場所などを確認しながら検討します。		
13	海の記念日や、みどりの日、科学技術週間などの機会をとらえ、関係団体と連携してジオパークをアピールする機会をとらえ、取り組む。 環境省、国交省、出雲科学館、ゴビウス、グリーンパークなどと連携して。		広報等、関係機関との連携を強化して取り組んでいきます。		
14	全国水環境マップ実行委員会の「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、ラムサール条約登録湿地のある宍道湖水系の水環境調査を行ない環境保全と啓発活動に役立てる。またこのデータを使いながら環境教育推進に役立てる。		調査への参加について、関係者と相談しながら検討するとともに、得られたデータの環境教育での活用について、両市の教育委員会等と相談しながら検討します。		
15	宮城県石巻市にて、実際のフィールドを用いたゲームが開発されており、島根のジオパークのフィールドをゲームにしたり、キャラクターの公募を行っても面白いと思う。 障がいのある人にも配慮した活動を行っていただけると良いかと思う。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	他ジオパークの取り組み等も参考にしながら、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。また、障がいのある方をはじめ多くの人が参加可能な活動に取り組みます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
16	鱒淵地区は、ジオサイトである韓竈神社周辺の黒鉱鉱床、猪目洞窟の他に鱒淵寺、河下港、河下台場跡、茶畑が広がる唐川集落等歴史や史跡および自然など多くの資源に恵まれている。ジオサイトを中心にこれらの資源を含めた活動の展開が必要である。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	ジオツアーの催行などに取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
17	・学校・公民館などの地域活動を巻き込んだ体験型のイベント(ゴミ拾い・料理教室・ウオーキング・スタンプラリーなど。複数組合せても) ・鳥取西部・島根西部など近隣地域への発信強化(鳥取西部にいますが、ジオパークの認知度が低いです。気軽に行ける距離なので、もっと知って訪れてほしい)	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	引き続き学校や地域を巻き込んだ体験型のイベントなどに取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
18	どのように島根半島・宍道湖中海ジオパークを宣伝するか(SNS、YouTube、グッズ作成など)	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	情報発信は重要であり、SNSをはじめ様々な媒体を通じた情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
19	交通アクセスについて ・公共交通機関があまり役に立っていない。マリンプラザが始発・執着になっているが、土日祭日の便が半減している。観光客には大変不評である。 ・松江ビジターセンターを拠点とした、交通ルートのパンプ作成が必要。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	公共交通機関をはじめ車やバイク、自転車、徒歩等、様々手法でルートを提案する等分かりやすいアクセスマップ等の作成に取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
20	・今後、4年間の動きが大筋分かった。素案に対する意見は特には無い。 ・ジオパーク活動は、とりわけ次世代や未来を意識して行うべきではと感じている。若い方々に関心を持っていただけるような仕掛けづくり、子どもに関わるより多くの機関、団体、子育て世代への働きかけが必要ではと思う。 制作物も若い方、子育て世代が手に取りやすいものにしてはと思う。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	若い世代に関心を持ってもらえる活動に取り組み情報発信することで、将来地域で活躍する人材の育成につなげていきます。		
21	宍道湖中海ジオパークの知名度向上について ジオパーク関連諸団体とのつきあいがあるとその存在が普通のように思えるが、それ以外の場所での知名度が、松江・出雲市内であつても低すぎるように思う。松江在住の方と話をする機会があつてもジオパークのことを詳しく知らない、声が聞こえてこないということを耳にする。今後はさらなる広報および一般普及活動が必要であると思う。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	情報発信は重要であり、SNSをはじめ様々な媒体を通じた情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
22	周辺自治体の無関心さの解消を 奥出雲で仕事をしているが、こちらには宍道湖中海ジオパークの情報がほとんど流れてこない。域内だけで無く関連する周辺の情報の集積も必要であるし、その存在をアピールするための周辺自治体への情報発信やジオパーク来訪ツアーの招聘企画運営も必要であると考え。		周辺自治体と連携を図りながら、当ジオパークエリア外への情報発信を強化します。		
23	より多くのミュージアムとの連携を 宍道湖中海のジオを含めた風土に関する情報は、自然史博物館だけでなく様々なミュージアムに存在する。また松江出雲両市内だけでなく周辺自治体に存するミュージアムにもその情報を提供し、あるいはそれぞれのミュージアムの持つジオ情報を集積していく必要があると思われる。(次ページに続く)		必要に応じて、当ジオパークエリアだけでなく、周辺自治体にある博物館や専門家等との連携を強化し、情報提供や収集に取り組みます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
24	普及図書の作成を 島根県地学会が発刊した「島根の地形・景観・奇岩」は各ジオサイトの掘り起こしや設定・解説に大いに役立ったと聞いている。発行後、増刷する予定は無いが、興味のある層からの問い合わせや入手要望は定期的に来ており、ジオサイトの詳細な情報に対するニーズは非常に高いと考えられる。今後は追加や情報更新も含めた改訂版を作成する必要があると思うが、ジオパーク主導では是非1冊制作してほしい。		予定しているジオサイトの見直しをふまえ、島根大学と連携しながら具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
25	島根半島・宍道湖中海ジオパーク キャラクター作成について まだ、当ジオパークにはみなさんに親しみを持って頂くキャラクターがいません。 エコバックなどの図案も可愛いですがグッズを作るにあたりキャラクターは不可欠と考えます。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	当ジオパークのキャラクターとして、「秘密結社鷹の爪」とコラボした「GEO吉田くん」を作成しており、今後、積極的に活用していきます。 		
26	グッズ作成・販売開始について ジオ商品開発 ・ピンバッジ ・クリアファイル ・ステッカー ・エコバック ・クッキー(お菓子)	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	引き続きノベルティグッズ製作に取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
27	ジオサイトの食の魅力発信の強化をお願いします。十六島海苔など伝統のあるもの、受け継いでいくものはぜひ入れていくべきかと思えます。 また、ガイドをしていると飲食店の情報は必須になります。周辺飲食店の情報をわかりやすく発信してもらえると助かります(マップやWEB)。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	ジオブランド商品をはじめ、当ジオパークの大地の恵みである「食の魅力」について情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
28	ひょうたん池がある島根町瀬崎の住民から入り口に看板を設置してほしいという要望があった。ひょうたん池に行くまでの道のりは落石が起り、看板の設置が適切かという問題はある。 四十二浦の看板に「ジオパーク」と入れることを検討したが、知名度が低い見送った。沿岸や岩脈の風景写真を入れることで、四十二浦巡りはジオパークの中にあることを地元の人に理解してもらおうようにした。島根半島四十二浦巡り再発見研究会が昨年行った調査では、ジオパークに対する関心はあまり無かった。今後一層周知が必要である。	【アクションプラン】P29,30 4. つたえる	ひょうたん池に行くまでの道のりは安全上不安があるため、誘客につながる看板の設置等は慎重に対応する必要があります。 また、SNSをはじめ様々な媒体を通じた情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
29	7つの取組の「4. つたえる」について 大根島には、国指定特別天然記念物「幽鬼洞」があります。今から20万年前噴火によってできた溶岩隧道の洞窟です。しかしながら現在は、鳥取県西部地震(2000年に発生)の影響で危険な箇所があり、以来20年余にわたって入洞禁止となっています。 【提案】 この洞窟は、歩いて回遊することができる貴重な地質・自然遺産です。その洞内の様子を映像化し、国内外に情報発信することを提案します。 発信方法ですが、本町には世界各地から年間30万人(コロナ前)の観光客が訪れる日本庭園「由志園」があり、施設内には観光客向けのジオラマ「大根島・江島」コーナーがあります。そのコーナーで映像化した「幽鬼洞・竜溪洞」内の様子を流し、多くの観光客にジオの魅力伝えるものです。集客力のある民間施設の協力(活用)も必要と考えます。公共施設(ビジターセンターやジオサイト等)に来訪者の誘導も大切ですが、人が集まる場所(施設)での情報発信も大切です。ウィンウィンの関係で、協力いただけると思っています。カネもあまりかかりません。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	多くの人が集まる民間施設等の協力を得ながら動画上映等の情報発信に取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
30	大根島中央の大塚山公園(スコリア丘)にある、古くなった「グリーンステラ」(施設廃止)を、中海のランドマーク(一例:大田市仁摩町の「サンドミュージアム」)として提案します。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	グリーンステラは、現在、松江市が黒にんにく組合に貸し付けており、黒にんにくの生産・熟成が行われています。		
31	<p>●アクションプラン ○P29 -30 4. つたえる 国内外の人々に対して、ジオパークの魅力をわかりやすく発信するだけでなく、社会全体で取り組むべき重要課題への意識の向上を図ります。</p> <p>(修正案) 広報・宣伝 長期</p> <p>当地域内の観光施設、博物館等におけるジオパーク展示の設置</p> <p>当地域内の観光施設、博物館等を準拠点施設と位置付け、ジオパーク展示を設置し、連携強化を図ります。</p> <p>(理由) 現在の拠点施設としては、松江ビジターセンター、松江国際 観光案内所、日御碕ビジターセンター、出雲科学館があります。利用者はそれらの拠点施設で当ジオパークの全体像を把握し、各自が興味関心のあるジオサイトの現地へ赴き、より深く学習することができます。これまでガイドスタッフや看板等の配置や整備によって各ジオサイトの案内の充実が図られてきましたが、観光施設、博物館等では地域とジオパークに関わりが学べる展示はまだ少なく、それらを準拠点施設と位置付けることでより一層の連携強化が図れると考えます。</p> <p>(準拠点施設の例) 古代出雲歴史博物館 宍道湖自然館ゴビウス 八雲立つ風土記の丘 由志園 (以上全国大会ツアー立ち寄り場所) 松江歴史館 山陰合同銀行本店展望フロア 出雲弥生の森博物館 松江市立出雲玉作資料館 鹿島歴史民俗資料館 メテオプラザ 松江市宍道ふるさと森林公園 モニュメント・ミュージアム 来待ストーンなど (以上ジオとの関わりが展示や解説できる施設)</p>	【アクションプラン】P30 4. つたえる	「準拠点施設」として位置付けるかについては、今後、施設の意向を踏まえながら検討することとし、観光施設や博物館等との連携を強化することでジオパーク展示等に取り組んでいきます。		
32	<p>○SNS発信 HPも充実していますが、プラスSNSでの発信で認知度をアップさせる。(胸を張って自慢できる魅力的なジオサイトですので、) インスタグラムの発信でこれまで以上に島根半島宍道湖中海ジオパークの魅力を認知してもらおう。 インスタグラムの#タグづけの投稿で、島根半島宍道湖中海ジオパークの魅力をジオサイトを訪れたお客様に感動や、美しい風景を投稿し、発信してもらおう。 イベントとして投稿期間を設け、投稿内容に、写真(人とジオサイトの景色を取めた写真と)とハッシュタグ(ジオサイトの場所 例:#日御碕『#いいね島根のジオ』等)を付け、投稿。後日抽選で、粗品を送付する。』というもの。 ○山陰中央新報の“週刊さんいん学聞”の掲載はとても勉強になります。継続をお願いします。</p>	【アクションプラン】P30 4. つたえる	情報発信は重要であり、SNSをはじめ様々な媒体を通じた情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
38	ガイド、地域住民に出雲の民俗学的知見を紹介する民俗学者の講演・講座を開催して頂きたい。片句を訪ねた民俗学者宮本常一の研究者、神奈川大学の民俗学教授山本志乃氏は鹿島町在住の研究会員が片句などを案内して、親しくしている。この鳥取県出身の研究者の話聞いて欲しいと推薦されているので、「旅とは何か」等コロナ禍の旅について提言を頂きたい。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	引き続き様々な講演に取り組むこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
39	・宣伝用のツアー映像を制作してyoutubeなどで配信（実際にガイドが案内）ケーブルテレビと共同企画 ・環境保全についての映画上映会 自然保護団体との連携 ・各浦ごとの地質と植物観察会 コミセンとの連携	【アクションプラン】P30 4. つたえる	引き続き情報発信や地域団体との連携による取り組みを推進することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
40	アクションプランの中でSNSやマスコミを通じた情報発信が挙げられているが、SNSやインターネット、テレビ、それから新聞など、これらをうまく融合させるような形で発信すると市民などに浸透しやすいと思うので、工夫して対応してほしい。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	情報発信は重要であり、SNSをはじめ様々な媒体を通じた情報発信を強化することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
41	松江市・日御碕両ビジターセンターに各団体の掲示板を設置した方が良い。各団体の調査などの活動のお知らせや、それに対する来訪者のコメントなどを書くことができる。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	ビジターセンターの機能充実に向け、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
42	ジオパークまつりを開催し、関係団体が一堂に会して出展して、一日ジオパークを楽しむ場を設けると良い。松江市と出雲市の2か所に会場を設け、参加しやすいようにした方が良い。予算やコロナの関係があると思うが検討してほしい。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	8月22日の「ジオパークの日」には、ビジターセンター等でイベントを開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえながら、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
43	ビジターセンターにジオパーク活動の取り組み状況を掲示するのが良い。紙を貼り出すのではなく、ホームページとのつながりの中で、ビジターセンターに設けたモニターに表示するなど、ビジターセンター内でのデモンストラーションが必要と考えた。	【アクションプラン】P30 4. つたえる	活動の情報共有は重要であり、ビジターセンターの機能充実の一環として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。検討していきます。		

5. つくる

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	アクションプランに「持続可能な開発」と「持続可能な発展」が混在しているので、意図的に使っているのであれば問題ないですが、特に使い分けがない場合は「持続可能な開発」で統一された方が良いと思いました。	【アクションプラン】P33 5. つくる	右記のとおり「持続可能な開発」に統一するよう修正します。	新たなジオ、エコ、ヒトのストーリーを構築し、ブランド力を向上させることで、地域信仰につながる持続可能な発展を目指します	新たなジオ、エコ、ヒトのストーリーを構築し、ブランド力を向上させることで、地域振興につながる持続可能な開発を目指します
2	個人でもガイドをお願いできるように、旅行業者などと連携すると思います。	【アクションプラン】P34 5. つくる	ガイド依頼の統一窓口の設置等について、両市の観光協会や旅行事業者等と連携して取り組みます。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
3	資料拝見しました。あらためてジオパークの活動は魅力的ですし、今の時代に大切なものだと感じました。機会をいただきありがとうございます。 アクションプラン5 つくる ツーリズムの開催について旅行社との連携で年間目標2件があがっています。 大きな企画も大切なのですが、観光協会とガイドの会が連携した小さいなプラン(日帰りや数時間のプラン)であれば、より実施・改善がしやすいプログラムが多くつくれてガイドの皆さんが活躍する場がふえるし(これからもメンバーは増えるので)、プランの発信を通じて(観光広報部会・SNS)ジオパークの活動も一般に認知されやすくなると思います。 地元の方も観光の方も、プランを自分が体験することが知ることや保全へとつながっていくと感じます。 教育について、子供たちや学校への働きかけはとても素晴らしいと思いました。	【アクションプラン】P34 5. つくる	様々なジオツアーの催行に向け、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
4	五感で楽しめるジオサイト巡りで魅力を発信していただきたい。 “キレイ・ダイナミック・美味しい”“神社巡り・神事の体験見学”を体感してもらうツアー作り 移動手段は、E-バイク、ノルディックウォーキングなど。	【アクションプラン】P34 5. つくる	様々なジオツアーの催行に向け、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
5	松江観光協会との連携について 出雲側は出雲市・出雲観光協会とジオパーク活動が密着していると感じますが、一方で松江側はあまり連携していないように感じます。連携してツアー企画など立ち上げていきたいです。	【アクションプラン】P34 5. つくる	松江観光協会とは、JR松江駅前にある国際観光案内所でのPRやジオパークをテーマとするタクシー乗務員研修会等に連携して取り組んでいます。ツアー企画やガイド依頼の統一窓口の設置等、今後、連携を強化します。		
6	ツアー造成して旅行会社に売り込み 観光協会との連携について 例①潜戸クルージングと桂島 アジ釣り体験付 例②斐伊川をたどる 船通山から宍道湖まで 例③奉納山からみるくにびき神話(すでに観光協会のタクシープランうさぎ号で企画しているので共同で宣伝) etc	【アクションプラン】P34 5. つくる	様々なジオツアーの催行に向け、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
7	ジオパークの認知度はまだ低く、国立公園や日本遺産を絡めて事業展開したい。ジオガイドと連携した旅行商品造成にも取り組んでいきたい。 キャンプ場との連携による宿泊波及型スキームを構築したい。	【アクションプラン】P34 5. つくる	様々なジオツアーの催行に向け、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

6. ささえる

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	環境整備への提案について ① 海岸漂着ゴミの清掃活動への補助 ・イベントとして行う活動より、地域住民が定期的に行う清掃活動への補助 ・ボランティア活動には限界があります。地域住民の環境への関心と、活動への意欲を増すために有償ボランティアの活用。 ② 漂着ゴミの定期回収 ・例えば、毎月第何曜日は漂着ゴミの日とし、地域住民が参加する。(有償ボランティア)ボランティアは募集し、登録してもらう。 ・回収したゴミは、一両日に回収してもらう。	【アクションプラン】P35 6. ささえる	国や県、両市の環境部局と連携を図りながら、地域での海岸漂着ごみ清掃活動を支援します。		

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
2	この度の再認定に関わって、歴史的な「菌の長浜」についてお話をさせていただきました。 長 浜海岸の保全活動(海岸清掃、ハマボウフウ再生など)や課題(海岸浸食対策、保安林整備など)について、ジオパーク活動の中で取り上げていただきながら、引き続き、保全活動等が積極的に推進されるよう願っています。 また、海岸整備等については、県、市ご当局においても、計画的に取り組んでいただいておりますが、ジオパーク活動の中でも、取り上げていただきますようお願いするものです。	【アクションプラン】P35 6. ささえる	国や県、両市の環境部局と連携を図りながら、地域で取り組んでいる海岸漂着ごみ清掃活動を支援します。 また、海岸整備については、保全との関係があることから、日本ジオパークネットワークや地域の皆様の意見を伺いながら検討します。		
3	地域住民・高齢者をジオにどう活躍してもらおうのかについて 地域住民による(高齢者主体)清掃活動。ジオ・クリーン組織を立ち上げ、有償ボランティアを募って定期的に清掃活動をしてもらう。	【アクションプラン】P35,36 6. ささえる	地域での清掃活動等への高齢者をはじめとする地域住民の参加について、地域の皆様の意見を伺いながら検討します。		
4	○今後の重点的取り組み アクションプラン(別紙②より) 地域活動の財政支援の拡大 ・上限金額の設定(東部・西部各年間1件) ・地域活動の年間財政を予算化する	【アクションプラン】P37 6. ささえる	これまでも地域活動への補助金を設けており、引き続き地域活動を支援することとし、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		
5	①県立自然公園一畑薬師周辺の歴史・文化・自然を紹介する観光ガイドブックの作成 一畑薬師を取り巻く、小境のどぶろく祭り知られる佐香神社、坂浦町の立石神社にまつわる伝承を持つ老母石神社、巨石を信仰の対象とする立石神社、四十二浦巡りの鞆前神社、一畑薬師縁起の聖地赤浦、千把が滝伝説など歴史・文化・市の織りなす魅力を伝えるガイドブックを作成したい。 ②県立自然公園一畑薬師・赤浦周辺の映像・写真によりその魅力を収集して、観光案内DVD(20分)を作成し、広く紹介する。 ③令和2年度に魚瀬・鹿島町編、令和3年度に島根町編を作成したが、上記一畑薬師・赤浦周辺編に続き美保関町、平田地域、大社町編を作成し、島根半島全域編を令和8年にかけて作成したい。 ④バスツアーの開催について ・令和4年度は一畑薬師・赤浦周辺と、スサノオ伝説探訪として、素戔鳴尊を祀る日御碕神社から佐田町須佐神社間を巡る歴史探訪ツアーを開催する。 ・広く要望のある七浦巡りバスツアーを含み毎年2回程度島根半島を紹介する。 ⑤島根半島の荒神祭等調査・研究について 島根半島四十二浦巡りの浦々では荒神を祀る信仰習俗があり、神社が主催したりお寺の住職がかかわることもあり、地神を祀るとされ、スサノオの大蛇退治にちなむと伝承されている。これら島根半島の信仰習俗の実態を調査し、祭祀の写真など収集し後世に残す。	【アクションプラン】P37 6. ささえる	引き続き地域活動補助金などを通じて、地域団体が取り組む活動を支援することとし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

7. むすぶ

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	協議会加入団体、また関係者間での共有と協力の強化ができれば良いと思います。 協議会の活動が、「協議会事務局の活動」と、「加入団体独自の活動」が主であると思われ、協議会全体が協力して方向性を決めて動く活動がないように思われます。 専門部会などを上手く活用しながら動くことが出来たら良いのではと思います。	【アクションプラン】P39 7. むすぶ	専門部会等を活用し、ジオパーク推進協議会会員をはじめジオガイドや地域で自然体験のアクティビティを営む団体等、ジオパーク活動に取り組む団体・個人との連携を強化し、情報共有を図りながら取り組んでいきます。		
2	ジオパーク推進協議会事務局が積極的にビジターセンターなどの地域に出向き、地域の人間がどのような活動に取り組みたいかなど、直接意見を聞いてほしい。地域の人間は意見を言いたくても機会がない。	【アクションプラン】P39 7. むすぶ	様々な活動を通じて、地域の皆様との対話の機会を設けるよう努めていきます。		
3	6月5日は環境の日で、環境省が三瓶山でゴミ拾いや植物の外来種の引き抜きなどを行い、海の日には海上保安庁が活動する。環境の日などに松江ビジターセンターでもPRなどを行い、それぞれの団体とジオパーク推進協議会が一緒になって活動することで、PR効果が高まり、交流を深めることができる。	【アクションプラン】P39 7. むすぶ	広報やイベント等、関係機関との連携を強化して取り組んでいきます。		
4	全国水環境マップ実行委員会が取り組む「身近な水環境の一斉調査」について、令和4年度は「出雲国ジオガイドの会」の名前で取り組んだが、来年度はジオパーク推進協議会の名前で取り組んでもらうように検討してほしい。	【アクションプラン】P39 7. むすぶ	調査への参加について、関係者と相談しながら検討します。		
5	計画に多くの項目があり、これまでの課題やさらに進めていくべきところを深掘りして磨いていく作業がこれからの4年間だと思う。協力できることがあれば、示唆してほしい。 一方で、来訪される方の目線而言えば、当ジオパークエリアだけでなく、もう少し広域で周遊されることが考えられ、隣接する自治体などと情報の共有や連携が必要である。	【アクションプラン】P40 7. むすぶ	周辺自治体と連携を図りながら、当ジオパークエリア外への情報発信等の取り組みを強化します。		
6	研修を希望します。 他地域ジオパークへの視察研修を希望します。(有料で構いません。)コロナ過で県をまたげない状況ですので、県内の隠岐の島ジオパーク研修はいかがでしょうか。	【アクションプラン】P40 7. むすぶ	様々な研修を行なうこととし、具体的な事業提案として、毎年度の事業計画及び予算を作成する中で検討します。		

(3)その他計画全般、活動全般

	意見	計画の該当ページ	対応案(計画への反映内容等)	修正前	修正後
1	アクションプラン3,4ページの「長期的な視点で見たアクションプラン」について、2017年に作成した前計画と比べて大きな変更点や力を入れた点があれば、教えていただきたい。	【マスタープラン、アクションプラン】全般	前計画との大きな変更点は、アクションプランとマスタープランに分けた点、「4つの主軸」と「7つの取組」の視点を入れた点、市民等に分かりやすいようにイラストを挿入した点、KPIの設定等です。		
2	出雲科学館として、今年3月に「自然の力と防災」の企画展を行っており、ジオパーク活動の趣旨に沿っている。各団体の活動がジオパークの趣旨にかなっている場合も多くあると思う。事務局もすべて把握できないと思うので、各団体がアクションプランのどの取組みに該当するかを申告し、事務局がそれを認定してはどうか。アクションプランの「まもる」「しる」など、7つの取組みごとに統一的なマークをつくり、各団体の企画に表示するようにすれば、ジオパークの活動が日常化すると思うし、ジオパーク活動に対する認識も広がっていく。	【アクションプラン】全般	各団体の活動とジオパーク活動との共有や連携については、いただいた意見等を参考に、団体の皆様の意見を伺いながら検討します。		
3	マスタープラン及びアクションプランにある「7つの取組み」のポイントは分かりやすさである。「まもる」「しる」「はぐくむ」「つたえる」「つくる」「ささえる」「むすぶ」は独立しているのではなく、切っても切れない部分がある。例えば「しる」で特化しつつ、まわりと融合してそれぞれの活動を進めてほしい。シンプルにプランが浸透することが大事である。例えば、表はマスタープラン、裏はアクションプランのポンチ絵を記載した下敷きのようなものを配り、今日の活動はここにあたると分かりやすさを演出するのが良い。	【アクションプラン】全般	マスタープランとアクションプランを地域や団体の皆様等多くの人に周知することは重要です。いただいた意見などを参考に、分かりやすく説明できるように工夫します。		
4	今年度考えている取組みを教えてください。	活動全般	今年度の主な取組みとして、桂島での小学生向け自然体験プログラム、小学校でのジオパーク授業、防災研修会、8月22日のジオパークの日における松江ビジターセンター、日御碕ビジターセンターでのイベント、ジオパークサポーターなどを予定しています。 当ジオパークのホームページへの事業計画の掲載や会報誌などを通じて、ジオパーク活動の情報発信を強化します。		
5	非常に丁寧にまとめている資料と感じた。ジオパークは自然を舞台にした活動だと思うが、気候が悪くて自然の活動が行いにくい冬の時期の対策や取組みは検討しているのか。	活動全般	冬の時期はジオパーク活動が行いにくい時期ではありますが、ラムサール条約登録湿地の中海・宍道湖に飛来する野鳥観察や日本海の荒波等、冬にしか見られない風景を情報発信する等、冬の時期にできる活動に取り組みます。		
6	コロナ禍の予防対策を優先するのか、観光で経済をまわすのか、バランスの問題があると思うが、経済にアクセルを踏むのであれば、コロナ禍の経済効果を広くPRしていきたい。	活動全般	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながらジオパーク活動を推進する等、地域の皆様の意見を伺いながらバランスの取れたジオパーク活動に取り組みます。		
7	ジオパークは、経済効果、集客誘致で言えば、どのような年齢層をターゲットにしているのか。	活動全般	ジオパークは教育や環境、文化など幅の広い活動であることから、具体的なターゲットは設定しておりません。子どもから高齢者まで多くの方が当ジオパークに興味を持ち来訪していただけるよう、地域の皆様と連携しながらジオパーク活動に取り組みます。		